

「第7回抜山記念国際賞」の選考経過と授賞式の報告

Report on the Seventh Nukiyama Memorial Award (NMA)

第7回抜山記念国際賞選考委員長 須賀 一彦 (大阪公立大学)
 The 7th NMA Committee Chair Kazuhiko Suga (Osaka Metropolitan University)
 e-mail: suga@omu.ac.jp

1. はじめに

日本伝熱学会が創立 50 周年を記念して創設した抜山記念国際賞 (Nukiyama Memorial Award, 以下 NMA) の第7回の授賞式は、2024年6月24日に中国上海市での ACTS 2024 (The 3rd Asian Conference on Thermal Sciences) において行われ、香港 Polytechnic 大学の Zuankai Wang 教授に授与されました。同日に受賞記念講演も開催されたので報告いたします。

2. NMA 選考委員会の構成と選考経過

NMA 選考委員会は、3名の日本国内委員と4名の国外委員から構成されます^[1]。国内委員は3回の選考に従事し、2回目は副委員長、3回目は委員長を担当します。国外委員は、2回の選考に従事しますので、毎回国内委員を1名、国外委員を2名新規に加えて委員会を構成します。第1回から第7回の選考委員会の構成を表1に示しますが、第7回の選考委員は、日本国内からは小生の他、小原 拓教授 (副委員長, 東北大)、店橋 護教授 (東工大)、国外からは Catherine Colin 教授 (Toulouse Inst. Fluid Mech., フランス)、Janusz Szmyd 教授 (AGH Univ. Krakow, ポーランド)、Gang Chen 教授 (MIT, アメリカ)、Chang-Ying Zhao 教授 (上海交通大, 中国) の4名でした。次回 (第8回) で

は、小生と欧州2名の計3名の委員が退任し、小原先生が選考委員長、店橋先生が副委員長となり、国内委員1名と国外委員2名の委員を補充することになります。

選考および授賞準備の経過は概ね以下のようです。

2023年1月～3月 選考委員会構成
 2023年4月 理事会による選考委員会の承認
 2023年6月1日 公募開始
 2023年9月30日 応募締切
 2023年10月～11月 選考委員会による評価および候補者の決定
 2023年12月 理事会への報告および承認
 2024年6月24日 ACTS 2024 (中国・上海) において授賞式および受賞記念講演

3. 選考プロセス

今回の選考では、前回よりも応募数が減少して世界4か国から5名にとどまりましたが、いずれも優劣つけがたい優秀な候補者でありました。前例に倣った選考方法は次の通りです。

まず選考委員全員が100点満点で、各自の基準でそれぞれの候補者を評価します。集計後、選考委員間における採点基準の偏りを補正するため、素点での集計表とは別に各委員による採点結果の

表1 抜山記念国際賞選考委員会

Board of the Nukiyama Memorial Award														
Year	Japan			International Board Member									Award Ceremony/Lecture	
	Chair	Vice-Chair	Member										Conference	Location
2012	K. Kasagi	M. Monde	H. Yoshida	A. Bar-Cohen	US	P. Cheng	CN	G.P. Celata	IT	S. Kandlikar	US	IFHT2012	Nagasaki	
2014	M. Monde	H. Yoshida	K. Okazaki	G.P. Celata	IT	S. Kandlikar	US	J.S. Lee	KR	T.W.Simon	US	IHTC2014	Kyoto	
2016	H. Yoshida	K. Okazaki	S. Maruyama	J.S. Lee	KR	T.W.Simon	US	P. Stephan	DE	X. Zhang	CN	IFHT2016	Sendai	
2018	K. Okazaki	S. Maruyama	Y. Takata	P. Stephan	DE	X. Zhang	CN	J.R. Thome	CH	J.H. Lienhard	US	IHTC2018	Beijing	
2020	S. Maruyama	Y. Takata	K. Suga	J.R. Thome	CH	J.H. Lienhard	US	Z.M. Zhang	US	S.J. Kim	KR	ACTS2021	Fukuoka	
2022	Y. Takata	K. Suga	T. Ohara	Z.M. Zhang	US	S.J. Kim	KR	C. Colin	FR	J. Szmyd	PL	IHTC2023	Cape Town	
2024	K. Suga	T. Ohara	M. Tanahashi	C. Colin	FR	J. Szmyd	PL	G. Chen	US	C.Y. Zhao	CN	ACTS2024	Shanghai	

平均点が 75 点となるように正規化した集計表も作成し、総合的に最上位から推薦候補 1 位, 2 位...と順位付けしました。結果, 上位 2 名は素点では同点で, 正規化した評価も非常に僅差で, どちらに授賞してもおかしくない状況でした。この結果を基に選考委員会で最終候補者を慎重に選出した後, 鈴木 洋副会長 (第 62 期) 経由で本会理事事に推薦し, 理事会において **Zuankai Wang** 教授を正式に受賞者として決定いたしました。

選考過程で **Z. Wang** 教授は, 凝縮伝熱や沸騰伝熱に多くの重要な業績があり, 中でも凝縮伝熱の劇的な改善策, 伝熱面上で液滴運動を自在に操る手法, 沸騰熱伝達を物理的極限まで高める方法, およびライデンフロスト効果の抑制など, 多くの課題に対し優れた成果をあげており, 授賞するにふさわしいと評価されました。

4. 授賞式と受賞記念講演

授賞式は 2024 年 6 月 24 日午前に, 上海で開催された ACTS 2024 の Opening Ceremony に引き続いての Award Ceremony セッションで行いました (図 1, 2)。受賞記念講演はプログラム編成の都合上, 同日午後にプログラムされた他のキーノートとの平行セッション (図 3) でのものでした。次回の IHTC で予定される第 8 回受賞記念講演は,



図 1 授賞式会場 (壇上は須賀)



図 2 授賞式の様子;

写真左: 須賀から **Z. Wang** 教授に賞状と盾を贈呈,
写真右: 謝意を述べる **Z. Wang** 教授

前回 (第 6 回) の受賞記念講演のようにプレナリイでの講演ができるように努力したいと思います。

Z. Wang 教授の受賞記念講演の様子を図 4 に示します。受賞業績の中心となったライデンフロスト効果の研究などを紹介され, 非常に分かり易い素晴らしい講演で, 講演の後も多数の質問を受けておられました。

5. おわりに

賞のステイタスは, その受賞者によって決まると言われております。NMA の受賞者は今回で 7 人目となりました。この賞は伝熱分野の学術賞としては後発ですが, 歴代の受賞者^[2]が全員世界トップクラスの優れた研究者であること, また, **Nukiyama** という名の知名度にも助けられて, 今や世界の伝熱コミュニティに広く認知された学術賞となりました。今回の選考でも, いわゆる泡沫候補はいっさいおらず, 応募者のレベルの高さを目の当たりにして, NMA のステイタスが世界に高く認められてきていると認識した次第です。

受賞者の **Z. Wang** 教授には, 今秋をめどに

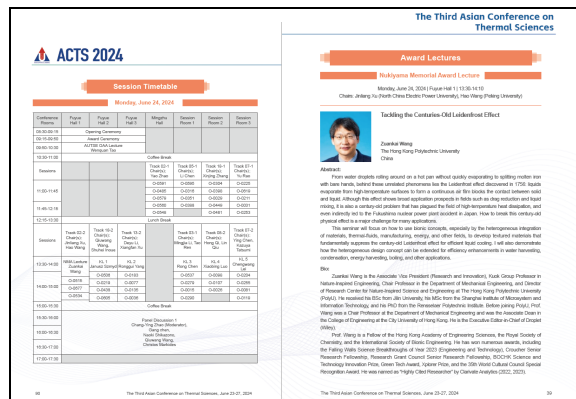


図 3 ACTS 2024 のプログラムから



図 4 受賞記念講演風景

Review Paper を Journal of Thermal Science and Technology (JTST)へ投稿することを約束してもらっておりますので、そう遠くない時期に、その優れた業績を網羅した論文を拝読できるものと期待しております。最後に、多忙の中多くの資料に目を通していただき、難しい選考にご尽力いただき

た選考委員の皆様には厚くお礼申し上げます。

参考文献

- [1] 岡崎健, 「第4回抜山記念国際賞」の経過と授賞報告, 伝熱 Vol.57, No. 241, pp.8-9
 - [2] <https://www.htsj.or.jp/nukiyama>
-